



●内側(三つ折り)イメージ



### 鹿児島県

鹿児島県は、日本本土の西南部に位置し、その総面積は約9,189 km<sup>2</sup>で全国第10位、2,643 kmの長い海岸線を持ち、太平洋と東シナ海に囲まれた南北約600 kmにわたる長大な県土を有しています。

気候区は温帯から亜熱帯に至り、全国の中でも平均気温が高く、温暖な気候に恵まれています。

種子島、屋久島、奄美群島をはじめとする多くの離島は、本県総面積の約27%と大きな比重を占めています。

中央部を南北に霧島火山帯が縦断し、北部の霧島から南海のトカラ列島まで11の活火山が分布しており、豊富な温泉にも恵まれています。また、県下のほとんどの地域が火山噴出物であるシラス層によって厚く覆われています。

---

**鹿児島県章**  
県章は、郷土を象徴する気持を高め、県民としての意識を喚起するために、自然に向って平和の願いを込めて鹿児島県を象徴するマークとして作られました。この県章は、鹿児島県の地形を写像化したもので、中央の円は火の島「霧島」を表しています。(昭和42年3月制定)

**鹿児島県の鳥(カシラカズ)**  
奄美大島・加計呂麻島・諸島のみに生息するカシラカズは、頬の色の羽毛が美しい非常に珍しい鳥で、国の天然記念物にも指定されています。(昭和40年指定)

**鹿児島県の花(ミヤマアザミ)**  
九州に自生するアザミ科のミヤマアザミは、本県でも霧島山系を中心に自生し、初夏の山々を鮮やかに彩ります。(昭和26年指定)

### 500円ハイカラー・クラッド貨幣

ハイカラー・クラッド貨幣とは、2種類の異なる金属を組み合わせる「ハイカラー」技術と、金銀色の異なる種類の金属板で「クラッド」技術を組み合わせたものです。

(鹿児島県県章「空海」)

◎ 図案をデザインしています。  
鹿児島県霧島にある高さ約12 km、南北約10 kmの大山、かつては文字どおり山であったが、1014年(大正3年)の噴火により崩壊となった。突如も活火山(活火山)を襲っており、その噴火を上げる姿は鹿児島を代表する景観の一つとなっている。

500円ハイカラー・クラッド貨幣の概要

額面	500円
素材	銅・アルミニウム合金、白銅及び鋼
直径	28.75 mm、厚さ12.5 mm、ニッケル12.5%
発行日	7.12.2016
発行	20.12.2016
その他の情報	発行所: 鹿児島県、発行所

(各製造所県共通)  
裏面『空海のイメージ』